

まちづくりに関する市民意見の収集と反映

今回の改定にあたって、有識者3名、市民公募委員7名からなる都市計画マスタープラン検討委員会を設置し、平成18年1月から6回の委員会を開催し、検討を行いました。また、市民の意見を直接お聴きするため、都市計画マスタープラン検討委員会の公募委員に司会役をお願いして、こまち懇談会の取りまとめを行い、7つの地域で3回ずつ、計21回のこまち懇談会を開催し、市民の皆様から多くの意見をいただきました。さらに、こまちモニターアンケート調査を3回実施いたしました。また、平成18年10月30日から11月19日まで「小平市都市計画マスタープラン改定の素案」について市民意見募集を実施し、73件の意見をいただきました。



第1回 都市計画マスタープラン検討委員会の風景

都市計画マスタープラン検討委員会

	検討内容
第1回 平成18年1月18日	「小平市都市計画マスタープラン」改定にあたっての基本方針について
第2回 平成18年3月8日	「小平市都市計画マスタープラン」改定項目について
第3回 平成18年6月13日	「小平市都市計画マスタープラン」改定項目について
第4回 平成18年7月24日	①都市将来像に対するコンセプト、理念について ②まちづくりの進め方について
第5回 平成18年10月18日	「小平市都市計画マスタープラン改定の素案」について
第6回 平成19年3月9日	「小平市都市計画マスタープラン改定案」について

都市計画マスタープラン検討委員会委員 (敬称略)

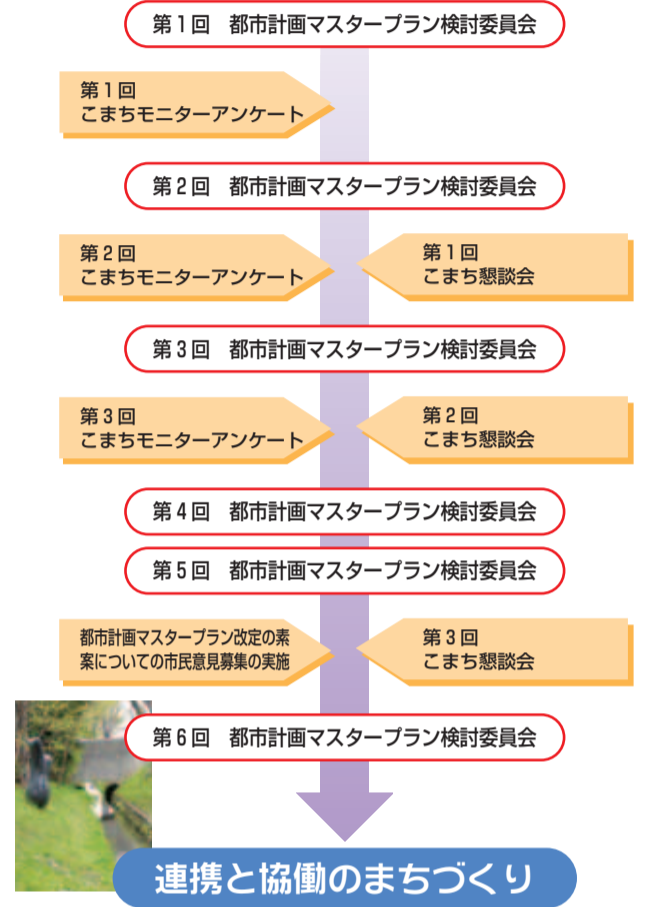
井上 赫郎	(株)まちづくり研究所 代表取締役 (委員長)
窪田 亜矢	工学院大学 建築都市デザイン学科助教授 (副委員長)
秋田 典子	東京大学大学院 新領域創成科学研究科研究員
塚田 雅彦	公募市民 (小川駅周辺地区担当)
光永 信也	公募市民 (花小金井駅周辺地区担当)
岩田 健雄	公募市民 (小平駅周辺地区担当)
都甲 公子	公募市民 (鷹の台駅周辺地区担当)
水田 昌	公募市民 (一橋学園駅周辺地区担当)
小倉 久弥	公募市民 (新小平駅・青梅街道駅周辺地区担当)
中村 真一	公募市民 (東大和市駅周辺地区担当)

こまち懇談会 (7地域で実施)

	懇談内容
第1回 平成18年4月	意見交換
第2回 平成18年6月	①第1回こまち懇談会で出た意見の検討結果について ②地域別構想について
第3回 平成18年10月	「小平市都市計画マスタープラン改定の素案」について

こまちモニターアンケート

	調査内容
第1回 平成18年2月	小平市のまちづくりに関する重視事項や施策への取り組み評価などについて
第2回 平成18年5月	まちづくりの推進にあたっての課題に対する重視すべき視点などについて
第3回 平成18年7月	地域の問題・課題や地域資源の指摘、抽出などについて



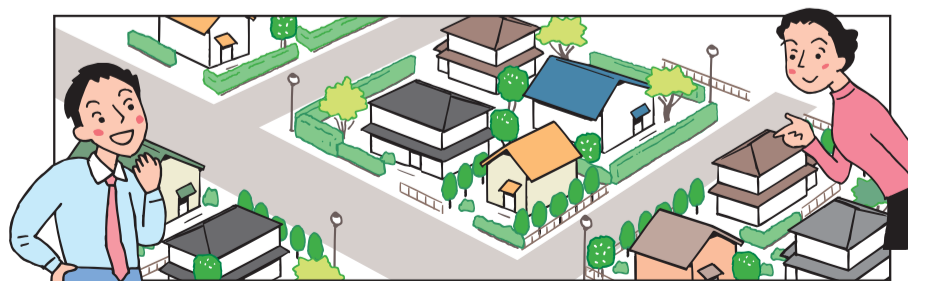
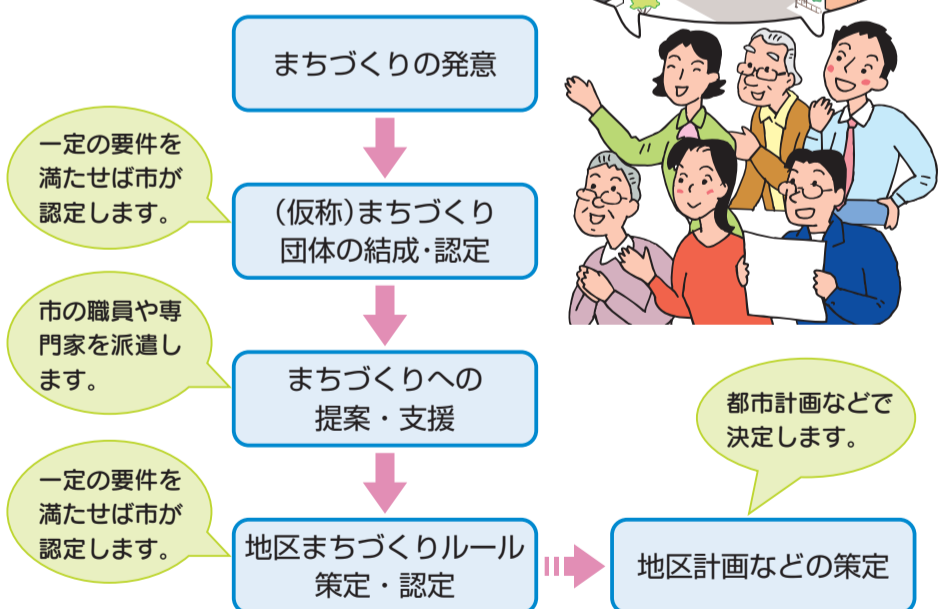
※「都市計画マスタープラン検討委員会」、「こまち懇談会」の会議録および市民意見募集でのご意見と市の考え方は、小平市ホームページでご覧いただけます。

連携と協働のまちづくり

都市計画マスタープランの実現に向けて、新たに連携と協働のまちづくりの方針を位置づけました。



(仮称)地区計画等提案型まちづくり条例の概念図



都市計画マスタープランの実現へ向けて

■基本的考え方

これからのまちづくりは、行政主導型ではなく、経済性が優先するものでもなく、市民一人一人が行政運営の主役になり、自ら実行するまちづくりが求められています。その中で、都市計画マスタープランを、いかに実現・実行していくかが重要です。

そのため、市民や事業者、行政の連携と協働により、住宅都市“こだいら”にふさわしい都市空間や環境の形成・創出を目指したまちづくりの推進を図ります。

1 連携と協働のまちづくりの方針

市民や事業者と市が小平のまちについての知識や情報を相互に共有しつつ、連携と協働によるまちづくりへの取り組みの検討

2 まちづくり活動・事業の進め方

—(仮称)地区計画等提案型まちづくり条例の創設へ向けて—

市民や事業者及び市がまちづくり活動の場の設置の実現を含め、小平のまちづくりを推進するためのルールについての制度化を検討(右図参照)

3 地域のまちづくり推進のための庁内体制と支援体制

庁内関係部署の相互横断的な連絡体制の強化と市民参画による各地区のまちづくりへの支援を検討・推進

4 広域連携のまちづくりの推進

国・東京都・周辺自治体及び都市整備に関する事業者との協議・調整と協力体制の構築

都市計画マスタープランの詳細は市ホームページでもご覧いただけます。 都市開発部まちづくり課 ☎042(346)9554